

(病名:大腸腺腫)

6階病棟(病室) 9801号室 患者様ID: 99999999

平成24年10月25日

患者様氏名: テスト 太郎 様 男

医師氏名: SS用 Test User 印

主治医以外の担当者(看護師):

項目	月日	入院前	4月1日 入院日(術前)	4月1日 入院日(術後)	4月2日 退院日(10時)
達成目標		検査内容を理解できる	不安がなくスムーズに検査ができる	異常の早期発見ができる	退院後の生活が理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置・手術		入院前日夜20時に下剤を飲みます 	朝の薬は服薬してかまいません。ただし事前に医師から休薬の指示があるもの、糖尿病薬は服用しないでください 入院後検温をしてから下剤とお水を飲みます。 30分毎に下剤400ml、お水200mlを2回、下剤200ml、お水200ml。(合計下剤1Lお水600ml)をゆっくりと飲みます。* 排便状況が検査ができる状態にならないときは追加で下剤を飲用したり浣腸をすることもあります 左腕に点滴の針を刺します 検査できる状態になったら着替えをし、点滴を行い車椅子で2階内視鏡室へ行きます	経過がよければ点滴は1本で終了です 医師の指示により点滴が増えることもあるため点滴の針は翌日退院が決まるまで入れておきます 	朝、医師が診察します 腹痛、下血など症状がなければ退院可能です 点滴の針を抜きます お薬は通常通り服用してかまいません ただし抗血小板薬や抗凝固薬を内服している方は医師の指示で再開してください
検査		外来で採血、尿検査、心電図、胸部・腹部レントゲン写真があります	内視鏡的大腸ポリープ切除術を行います 	検査の予定はありません	
リハビリ			リハビリの予定はありません		
症状		症状なし、または便潜血陽性反応		腹痛、出血、腹部膨満感 	
看護計画	活動・安静度	制限ありません	検査前は腸の動きを活発にし排便を促すため、病棟内を歩いてもらいます	車椅子で検査から帰ってきた後、1時間はベッド上安静になります。その後検温で異常がなければ更衣をし、歩行できます	無理な運動やお腹に力が入る作業は控えてください
	食事	エニマクリン食を購入してください 入院前日の朝は消化の良いもの、昼食、間食、夕食はエニマクリン食を食べてください	朝食は食べないで来てください 水分(水・お茶)は飲んでもかまいません 	経過がよければ夕食からお食事できます	
	清潔	制限ありません	入浴・シャワー浴はできません		帰宅後、短時間のシャワーは可能です
	排泄		排便時は便の形・色・回数を確認しますので、看護師を呼んでください。	腹部をマッサージしおならを出すようにしましょう。お尻から出血した時は看護師が確認しますのでお知らせください。 	
患者様及び御家族への説明	<入院時忘れずにもってきましょう> 書類一式 内服している薬 * 抗血小板薬や抗凝固薬を内服している方は医師の指示にしたがって休薬してください				退院前に栄養士から食事に関する説明があります 退院前に退院計画書、次回受診の予約票をお渡しします
栄養指導	わからないことがあったらクリニックへご連絡ください				
服薬指導					
特別な栄養管理の必要性	有 ・ 無				
退院後療養上の留意点 退院後の治療計画	退院後10日間は無理な運動や、お腹に力が入る作業は控えてください。お酒や、刺激の強い食べ物は控えてください。異常がなければ、予約日に受診してください。便に血が混じっていたり、腹痛が出現した場合は病院へ受診しましょう。				
総合的な評価 ◇	(日常生活活動度)			(認知機能)	

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

上記入院診療計画書の説明を受けました。

年 月 日 ご署名

(本人 ・ 家族)

あおもり協立病院

〒030-0847
青森市東大野2丁目1番地10
TEL 017 (762) 5500
FAX 017 (729) 3260